

ガルヴィ30年目の夏。キャンプで暑さも楽しもう!

# GARVY CAMP

## MAGAZINE

ANNIVERSARY  
30  
YEARS  
TENT FACTORY  
Onway  
SPECIAL INTERVIEW

2021

8

ガルヴィ

# 夏キャンプ

## 正解ギア & 激変テク

### THE COOL CAMP

*in Summer*

注目の暑さ対策アイテムレビュー  
快眠できる寝室作り20の知恵  
リビングで涼しく過ごすヒント14選  
蚊、アブ、ブヨを徹底的に押さえ込む  
知っておくべき夏の食品保管術



暑いときこそ!? お手軽キャンプスタイル

空の旅で北海道へ 手ぶらキャンプ  
キャンプを変えるポータブル電源  
レンタルキャンピングカー入門



夏の暑い時こそ!?

# お手軽キャンプスタイル



## EASY CAMP STYLE 3

キャンプは楽しい! 暑さ対策をしっかりと行えば夏はまさにキャンプを満喫できるシーズンだ。

しかし、いつもいつもキッチリと準備をする時間が……。なんて読者も少なくないだろう。

そんなみなさんにぜひとも紹介したいのがこの「お手軽」キャンプスタイル。忙しい合間を縫って、サッと行って泊まれちゃう!!

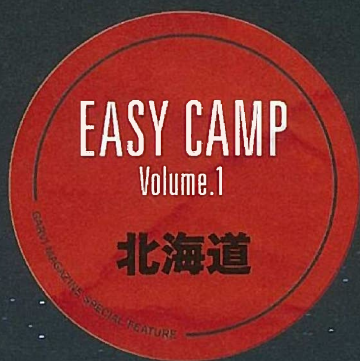
今回は、とくに3つのキーワードをクローズアップ。最小限の準備で夏キャンプを楽しめますよ!

Vol.1 | 空の旅で北海道へ“手ぶら”キャンプ

Vol.2 | キャンプを変える“ポータブル電源”

Vol.3 | レンタル“キャンピングカー”入門





ANA 便でひととび+レンタルなら可能!

# 手ぶらで満喫した 北の大地とキャンプ旅



アウトドア好きにとって、北海道はまさに夢の大地。日本のなかでも、やはり別格のフィールドといえるだろう。とはいえ、キャンプ道具をすべて持参しての旅は、やはり大変。そこで、まず提案したいのが「手ぶら」キャンプ。キャンプ道具もクルマもレンタルして、あとは飛行機でGO! たまには、身軽にキャンプを楽しんじゃおうよ。

PHOTO / 中里慎一郎 TEXT / 山下晃和



## 山下晃和

タイクーンモテリルエージェンシー所属のモデル。旅をして、雑誌やWEBなどの媒体や地方自治体のサイクルマップ、メーカーのカタログに寄稿する、ときどきトラベルライター。野球は北海道日本ハムファイターズファン。



シュワシュワシュワッと一帯にエゾハルゼミの鳴き声が響き渡る。刹那に過ぎる北海道の夏のはじまりを象徴している。羽田から新千歳空港までANA便でたったの1時間半。あつという間にグープし、空港からキャンピングカーをレンタル、一瞬にしてキャンプ場に到着してしまっただ。今回は、キャンプ道具類までレンタルする真正正銘の、手ぶら北海道キャンプ旅だ。

以前、バイクで訪れたときや、自転車で訪れたときは、キャンプ道具一式を積んだ規格外に重たい荷物をくくり付けていたのに、今回はダッフルバッグひとつだけだなんて。こんな身軽で簡単な北海道キャンプでいいのだろうか？

本州と違って亜寒帯気候なので、空港に降りた瞬間から、湿気の少ない空気に包まれた。北海道は梅雨がないといわれているものの、場所によってはシトシト降り続けることもあるそう。ましてキャンプ場となれば山間部が多い。しかし、キャンピングカーだったので、まったく心配はいらなかった。

北海道は、日本でもっともクルマ旅が楽しめる場所。首都圏では想像できないくらい、信号も人家もなく、叫びたくなるほどの解放感だ。まっすぐに延びた一本道。左右に広がる湿原、牧場、森、山々……。美しい自然の宝庫にいちいち感動して声が出てしまうことも。

もちろん、夜も格別。漆黒の絨毯のような夜空に、白い粉をふりかけたのかと錯覚するほど満天の星が瞬く。そんな北海道を手ぶらで旅してきた今回のキャンプ。このあと、ANAのホームページで空席状況を確認してしまっても？

## キャンプと航空券がセットになったANAトラベラーズ「そらキャン」

長い休みがとれない人でも簡単に北海道キャンプが楽しめるのでおすすめ。本州からの自走ではないため、移動時間も短い。レンタルのキャンプ道具もいろいろ準備されている。装備を少なくできるので、準備のバックアップで悩むことも少ないだろう。セット価格で予算内に収めることも簡単。レンタカーとの併用も可能。初心者や家族や友人と一緒になら「そらキャン」一択！

### ここがポイント！

- ① セットなので計画が立てやすい！
- ② キャンプ道具のレンタルが充実
- ③ OPでレンタカーも一緒に手配可能
- ④ マイルや保険のサービスも







# 広い北海道だって飛行機と車中泊だから 余裕をもって日程が組める!



キャンプ場からドローンと見える羊蹄山は圧巻。手ぶらセットとはいえ、シェラカップ、ヘッドランプ、カトラリーなどは持参を。

気持ちのいい一本道! お店が少ないので買い出しは要注意。夜は地元の食材と焚き火を堪能した。



ランチはきのこ王国大滝本店という不思議なお店へ。きのこの蕎麦とカレーが美味。道産のホッケ、アスパラなどをBBQで。

## Day 1

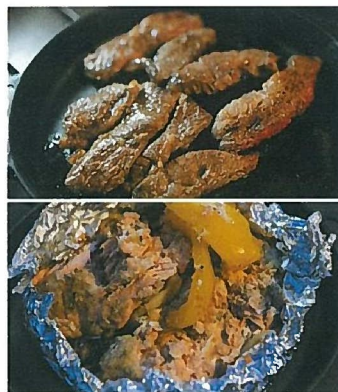
羽田空港から  
新千歳空港へ。  
羊蹄山に見守られ  
ニセコを目指す

レンタカーベースでキーを受け取って、慎重に旅が始まった。キャンピングカーのサスペンションの柔らかさや車幅の感覚などを探りながら安全運転で進む。車両引き取り時に教えてもらった、羊蹄山がよく見える道道66号から一本外れた道は、本当におすすめ。この日は、ニセコの南側にあるニセコサヒナキャンプ場でテント泊。

## Day 2

ニセコから尻別川、  
白老川に沿って  
注目のキャンプ場・  
ASOBUBAへ

昨日に来た道に戻り、支笏湖の手前で南下。白老町へ。白老川という川沿いに続く道道86号を進む。買い出しは、白老町のCOOPへ。横にダイソーがあるので、足りない調理器具を購入。広大なキャンプ場の中にきれいなトイレとシャワーがある。受付兼ショップは、まるで洋服屋さんのようにオシャレ!



白老町は牛肉を推している。道内でも屈指のSAランクを誇る白老牛をステーキに! さらにこちらも地元産のマスでムニエルも。



キャンピングカー泊だけでも焚き火も楽しむ。焚き火台やトングなどのセットは、クルマと一緒に貸してくれた。



右) 枕元にある電源、ホテルのようなふかふかなベッドで寝心地は◎だ。中) 車内のキッチンが2口で使いやすい。左) 道の駅への立ち寄りも楽しい。





限られた時間のなかで北海道を楽しみたいなら、やはりおすすめは飛行機だ。さらに、今回はレンタルキャンピングカーを使用し、まさに夢のような二泊三日が実現した。

初日は、支笏湖から真狩村を抜け、ニセコのサヒナキャンプ場へ。せっかくなのでキャンピングカーだけでなく、テントで寝るのも大好き！というので、手ぶらキャンプセットをリクエスト。なんとこのセットを頼むと設営までしてくれる。準備が短時間で済むので、着いたらすぐに羊蹄山を眺めながらコーヒーを淹れる。贅沢すぎるくらいだ。

2日目は、北海道名物(?)セイコーマートや道の駅に寄り道しつつ、ニセコから白老町にある新進気鋭キャンプ場ASOBUBAへ。まだ拡張中らしいが、広大な敷地にあるさまざまなサイトがキャンパーを待っている。ブッシュクラフトサイト、ハンモックサイト、キャンピングカーが止められるビッグサイトなど、あらゆるキャンプスタイルに対応してウェルカムなのが嬉しい。

この夜はキャンピングカーでゆっくり。道産の食材を買い込んで、車内のキッチンで料理を作るのも至福の時間。星空の下、焚き火を愛でながら食べるステーキはまさに絶品。

最終日は古小牧の漁港でランチを食べ、札幌まで足を延ばすと約400kmとなった。意外と走っていて驚きだ。気持ちはまだ帰りたくなかったが、しょうがない。

また来るぞ、北海道！

CAMP SITE

## Information for お手軽キャンプ

### ニセコ サヒナキャンプ場

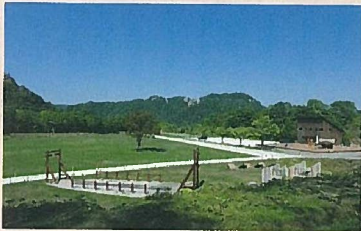
**DATA**  
北海道磯谷郡蘭越町  
宇邊里224-19  
Tel.0136-58-3465  
info@sahina-camp.com



しっかりと区分けがされているので隣を気にせず楽しめるキャンプ場。直火ができる焚き火炉や手ぶらキャンプセットもあるので、時短キャンプにぴったり。羊蹄山を見ながらBBQは贅沢の極み。近くには温泉も多数。

### 白老キャンプフィールド ASOBUBA

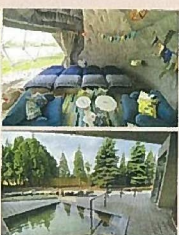
**DATA**  
北海道白老郡白老町森野98-1  
Tel. 080-1899-5151 info@asobu.life / asobuba@asobu.life



フリーサイト、林間サイトだけでなくブッシュクラフトを楽しめる河原サイトもある。シャワー、トイレがとにかくキレイ。オシャレなショップが園内にあり、「ASOBUGU」のハンドメイドレザー製品も買える。キャンプ場オリジナルのラーメンもおすすめ!

### 滝川ふれ愛の里 北のたまゆらまるごとそらち

**DATA**  
北海道滝川市西滝川76-1  
Tel.0125-26-2000



滝川駅から約5kmと市街地から近く、ハイマツなどの低木がバランスよく残され、プライベート感たっぷりのキャンプ場。グランピングや手ぶらキャンプのプランがあるほか、生ビールも用意。徒歩約2分で岩盤浴が楽しめる天然温泉やレストランもある。

### 北海道ノマドレンタカー

**DATA** 北海道千歳市美々758-134(千歳店) Tel.0123-21-8572 info@nomad-r.jp



良心的な価格や、懇切丁寧な使い方の説明など、キャンピングカーを初めて利用する人でも安心して借りられる。スタッフが、周辺情報やキャンピングカーで訪れて楽しいスポットなどのアドバイスしてくれるので、旅の情報もここで入手してからスタートするといいい。

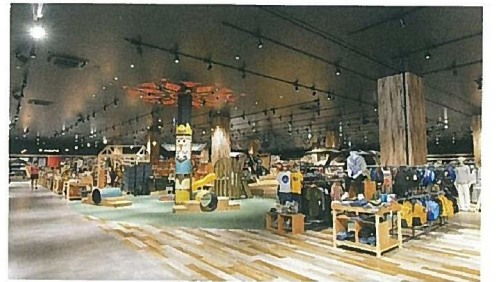
# Day 3

## 苫小牧&札幌にも足を延ばす。最後は新千歳空港から羽田空港へ

最終日の朝はのんびりと起きて、魚を焼いて食べた。キャンピングカーなのでテント撤収などもない。フライトまで時間があったので、霞がかった海沿いの道を走って、苫小牧にある超人気店・マルトマ食堂へ。運よく並ばずして入店。うまい! その後、札幌市のアウトドアショップを偵察して、新千歳空港で車両を返却。こうして北海道の旅は終了した。



長蛇の列ができるほど人気の苫小牧港近くにあるマルトマ食堂。絶品のホッキカレーが有名。超甘エビ丼はもはや白飯が見えない。



アルペンアウトドアーズフラッグシップストア札幌発寒店は北海道ならではの広い店内に、オシャレなキャンプグッズがズラリと並び。



新千歳空港の展望デッキにて、ANA機体と記念撮影。帰りのフライト時間は1時間40分。再訪を約束して、アディオース!